



2023年5月16日

2022年度（2023年3月期） 決算説明資料

ロジスティード株式会社



2022年度 決算概要

- 全体概要
- グループ別
- 売上収益・調整後営業利益 増減内訳
- 海外地域別

当社グループが中長期的にめざす姿

- 海外事業の強化・拡大、新たな付加価値による事業領域の拡張、スマートロジスティクスの進化、ESG経営の基盤強化

【補足資料】

(財政状態、キャッシュ・フロー、主要営業費用・設備投資、人員他)

<参考> 業態別実績



2022年度（2023年3月期） 決算概要



2022年度決算概要（全体概要）

（単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)）

	2021年度		2022年度		
	実績	実績	前年比		
			比率	増減	
売上収益	7,436	8,143	110%	+707	
調整後 営業利益	<5.2> 387.0	<5.6> 458.4	118%	+71.4	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前当期利益)	<4.0> 294.2	<5.6> 452.9	154%	+158.8	
親会社株主に帰属する 当期利益	<1.8> 135.1	<3.1> 255.2	189%	+120.0	



2022年度決算概要（グループ別）

（単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は前年差）

		売上収益		調整後営業利益		
		通期	前年比	通期	前年比	
オーガニック	国内物流	<49> 3,676	101%	212.1	95%	
	国際物流	海外	<42> 3,094	133%	179.2	154%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<7> 499	107%	27.2	209%
	計	<48> 3,593	128%	206.4	159%	
	その他(物流周辺事業等)	<2> 162	112%	17.4	126%	
計	<100> 7,430	113%	435.9	119%		
バンテックグループ	国内物流	<78> 591	106%	26.4	124%	
	国際物流(海外)	<22> 169	112% 47%	4.0	158% 48%	
	計	<100> 760	83%	30.4	103%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		- ▲ 47	(+22)	▲ 7.9	(+2.0)	
合計	国内物流	<52> 4,240	102%	230.1	97%	
	国際物流	海外	<40> 3,261	121%	183.7	149%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<6> 498	111%	27.2	209%
	計	46% 3,759	120%	46% 210.9	155%	
	その他(物流周辺事業等)	<2> 144	111%	17.4	126%	
計	<100> 8,143	110%	458.4	118%		

※2022年度よりバンテック米国・インドネシア法人をオーガニックへ変更 ()内は変更前ベースの前年比

()内は国際物流比率



2022年度決算概要 (売上収益：増減内訳)

売上収益 (実績)

(億円)

7,436

8,143

・受託領域拡大 : +134億
・顧客物量増減他 : ▲75億

環境変化・
物量増減他
+59

21'実績レート→22'実績レート

・USD: ¥112 → ¥135
・EUR: ¥131 → ¥141
・CNY: ¥17.51 → ¥19.75

為替影響
+362

・国内 : +89億
・国際 : +153億

新規受注
+242

協創新規
+44

+286

+707

単位：億円

項目	環境変化・物量増減他			為替影響	新規受注	協創新規	計
	受託領域 拡大	顧客物量増減 他	小計				
国内	86	▲141	▲55		89	34	68
国際	48	53	101	362	153	8	624
その他		13	13			1	15
計	134	▲75	59	362	242	44	707

2021年度(実績)

2022年度(実績)



調整後営業利益 (実績)

(億円)

・受託領域拡大 : +9.7億
・その他(顧客物量増減他) : ▲6.8億
(内、物流センター火災に伴う諸経費▲3.2億含む)

環境変化・
物量増減他

+3.4

為替影響
+28.0

・国内 : +11.9億
・国際 : + 9.7億

新規受注
+21.7

協創新規
+6.7

生産性向上
+11.7

458.4

387.0

+71.4

2021年度(実績)

2022年度(実績)



2022年度決算概要（海外地域別）

（単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、()内は増減差）

		2021年度		2022年度			
		売上収益	調整後 営業利益	売上収益	前年比	調整後 営業利益	前年比
海外	北米	594	15.0	836	141%	42.3	281%
	欧州※1	856	54.7	1,198	140%	82.6	151%
	アジア※2	623	37.3	696	112%	43.9	118%
	中国	621	28.5	532	86%	22.5	79%
	連結消去等	▲ 7	▲ 12.1	▲ 1	(+6) 億円	▲ 7.6	(+4.5) 億円
計		2,687	<4.6%> 123.4	3,261	121%	<5.6%> 183.7	149%

※1. トルコは欧州に含む

※2. オセアニア他はアジアに含む



LOGISTEED2030

強固なパートナーシップで実現する「めざす姿」

ケイパビリティを補完するパートナーとの協創

- 「SCM全体最適化に向けた高付加価値ソリューション」
- 「DX推進による顧客利便性の向上と効率化」
- 「海外向けの一貫したバリューチェーンの強化」
- 「投資先行型案件への取り組み強化」
- 「戦略的M&Aの推進」
- 「プラットフォームとしての地位強化」

中期経営計画
(LOGISTEED2021)

中期経営計画
(LOGISTEED2024)

そしてその先へ

LOGISTEED 2030

経営ビジョン

(長期的にめざす姿)

経営理念

- 売上収益 : 1.5兆円
- CO₂ : 50%削減
- 海外比率 : 50%以上

北米

■ 3PL事業拡大 (工場向け一気通貫ロジスティクス)

・米国(ラレド)～メキシコでのメーカー向けサービス拡大他

■ 北米グループ会社統合

・LOGISTEED America社が発足 (2023年4月)

⇒ 3PL+フォワーディング機能を

統合し、シナジー効果の最大化



欧州

■ インターモーダル事業の拡大

・環境に配慮した物流ニーズのさらなる取り込み

⇒ 自家用鉄道ワゴンへの追加投資

〔 FY22 : 90台
FY23 : 90台 + EVトラック導入 〕



■ 医薬品事業の拡大

・Cyber Freight社を起点とした医薬品事業シナジー拡大

中国

■ 流通・産業系領域を軸とした内陸への事業拡大

・体制強化で積極開拓 (合肥、成都、重慶、武漢)

■ 自動化・省人化設備導入の加速

・導入設備のラインナップ拡大により
ノウハウを蓄積し、グループ内展開へ



アジア

■ インド・タイ・インドネシア・マレーシア他での投資・事業拡大

・重点エリアへの投資を着実に実施し、
新規顧客を開拓

■ コールドチェーンの展開

・冷凍/冷蔵対応の倉庫・車両を
整備し、顧客需要を取り込み



サプライチェーンDX、金融DX

■ 付加価値サービス（VAS※1）の拡大

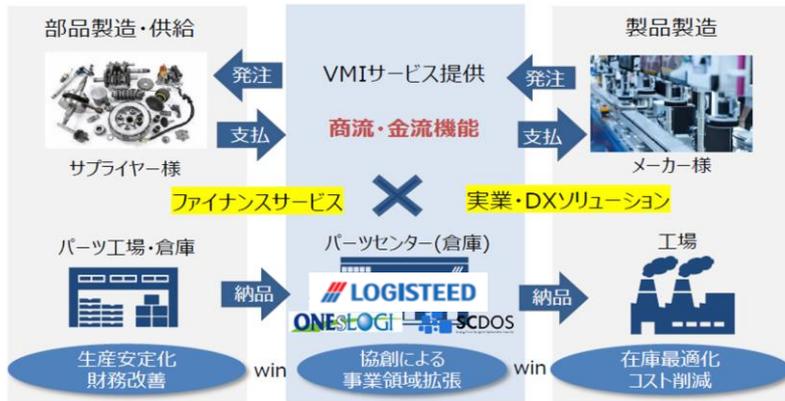


※1. VAS(Value Added Services) ※2. VMI(Vendor Managed Inventory)
 ※3. GDP(Good Distribution Practice) ※4.撮影(さつえい)、採寸(さいすん)、原稿(げんこう)制作

■ 商流・金流を組み込んだVMIサービスの展開

- ・物流オペレーションとファイナンスサービスの合体
- ・SCDOSと連携したデータ利活用サービスの展開

<サービス構想>



■ 金融DX(ブロックチェーン等)による LOGISTEEDエコシステム(経済圏)の構築

- ・ブロックチェーン(分散型台帳)での仮想通貨による料金決済

商流・金流・情流・物流を束ね、サプライチェーンをデザイン

倉庫DX



■ デジタルツインによる全体最適化

- ・運営ノウハウをAIが学習、予測・シミュレーションに基づき、運営業務を省力化、RCS※1とも連動

■ RCS拡張による最適人員配置

- ・RCSによる作業工程標準化と生産性可視化により、リソース管理を強化し、バックキャストコントロールを実現

※1. RCS(Resource Control System) ※2. CPS(Cyber Physical System)

輸送DX

■ 輸送力の強化と全体効率化を推進

フィジカル

- ・輸送力強化 (自家車他)
- ・長距離輸送の戦力化 (中継輸送・モーダルシフト)
- ・M&A・アライアンス



デジタル

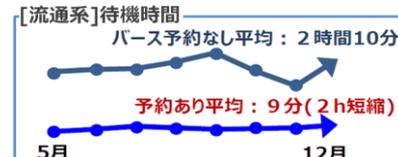
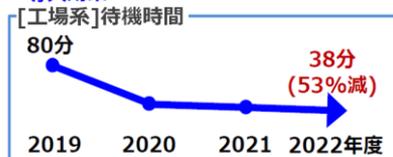
- ・配車業務のシステム化 (SSCV-Smart推進)



■ バース管理システムの展開拡大 <ホワイト物流>

- ・モデル事業所への導入完了 (工場系・流通系システム)
- ・グループ内事業所への展開を拡大

■ 導入効果



当社グループのめざす物流センター像

■安全・品質・生産性・防火・防犯を集中管理する自動化センターの構築(倉庫の見える化)

- ・安全品質集中管理センター設置、モデル事業所への可視化環境構築を完了
- ・AI認識による自動化、検知事象の一元管理(ポータル化)を推進、可視化環境の多拠点化

安全品質活動の強化

- ・インシデントの検知、即時映像指導
- ・衝撃、疲労の通知 (SSCV-Safety)



安全品質 集中管理センター



警備の自動化

- ・警備ロボットの実装
- ・監視カメラ映像による定点観測



火災検知・発報の自動化

- ・火災の早期発見
- ・機械による消火 (ロボット、ドローン)



AI認識

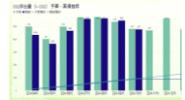
- ・インシデント
- ・危険作業
- ・不審者検知
- ・温湿度管理

検知ポータル

- ・検知事象の一元管理

品質・環境管理の強化

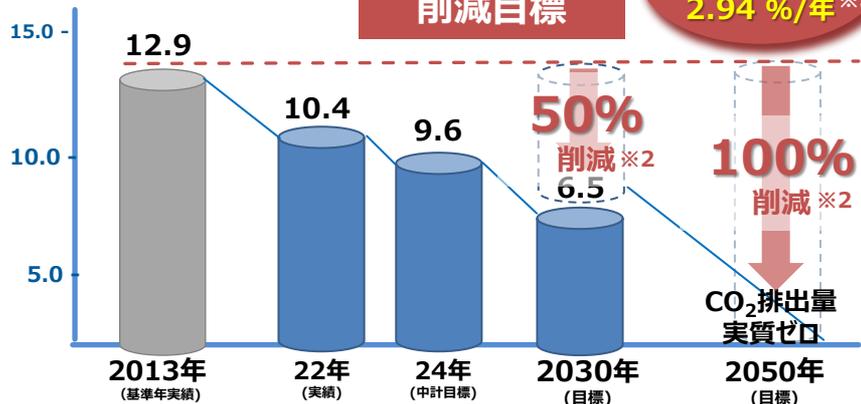
- ・温度管理システム (検知・通知)
- ・CO₂監視システム



脱炭素への取り組み

■ 環境中長期目標

(単位: 万トン-CO₂/年)



CO₂排出量※1
削減目標

排出量平均
削減率(～30年)
2.94%/年※3

CO₂排出量
実質ゼロ

※1 国内スコープ1+2の合計 ※2 2013年度比 ※3 2030年までの平均削減率

■ 主な取り組み

- ・電化、再エネの導入推進 (EVトラック、太陽光パネル他)
- ・モーダルシフト、インターモーダルの拡大
- ・CO₂排出量見える化推進 (グローバルでの見える化)



「ロジスティードグループ人権方針」制定

■ 人権及び責任あるサプライチェーンの構築

- ・「世界人権宣言」等の国際規範・基準を踏まえて制定
- ・制定日：2023年4月1日

＜主な内容＞

- ・人権尊重の責任
⇒具体的な人権問題に触れ、人権に関する責任を果たす
- ・人権デューデリジェンス
⇒人権デューデリジェンスの仕組みを構築し継続的に実施
- ・対話・協議
⇒外部の人権に関する専門知識を活用するとともに、ステークホルダーの方々との対話を誠意をもって行う

＜当社「Myじんけん宣言」＞



＜当社Webサイト(人権の尊重)＞

人権の尊重

ロジスティードグループの人権方針

ロジスティードグループは、経営理念「広く未来をみつめ 人と自然を大切に 良質なサービスを通じて 豊かな社会づくりに貢献する」という考えのもと、「国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」」、「OECD 多国種企業行動指針」、「国連グローバル・コンパクト」、「国際労働機関(ILO)労働における基本的原則及び権利に関する宣言」および「世界人権宣言」を踏まえ、2023年4月に人権方針を制定しました。本方針の制定にあたっては、人権に関する外部専門機関からのご助言も反映のうえ、執行役員会議で審議し承認を得ています。

<https://www.logisteed.com/jp/profile/csr/social/employee/>



【補足資料】

＜財政状態、キャッシュ・フローの状況 他＞



(単位：億円)

	2021年度	2022年度	
	通 期	通 期	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,495	2,437	▲58
非流動資産	5,424	6,684	+1,260
資産の部合計	7,919	9,121	+1,202
(負債の部)			
流動負債	1,731	2,221	+490
非流動負債	4,405	5,699	+1,294
負債の部合計	6,137	7,921	+1,784
(資本の部)			
親会社株主持分	1,702	1,107	▲595
非支配持分	80	93	+13
資本の部合計	1,782	1,200	▲582
負債・資本の部合計	7,919	9,121	+1,202



(単位：億円)

	2021年度	2022年度	
	通 期	通 期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	651	1,221	+569
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 249	▲ 1,173	▲ 924
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 525	▲ 173	+352
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	14	▲ 9
現金及び現金同等物の増減	▲ 99	▲ 111	▲ 12
現金及び現金同等物の期首残高	1,048	949	▲ 99
現金及び現金同等物の期末残高	949	838	▲ 111

主要営業費用

(単位：億円、()内は構成比(%))

	2021年度		2022年度			
	通 期		通 期		前年比	
					比率	増減
外注費	(52.3)	3,892.8	(51.1)	4,157.6	107%	+264.8
人件費	(22.5)	1,669.4	(22.2)	1,803.9	108%	+134.5
賃借料	(2.8)	209.0	(2.7)	223.5	107%	+14.5
償却費	(6.8)	508.3	(7.0)	566.9	112%	+58.6

設備投資

(単位：億円)

	2021年度		2022年度			
	通 期		通 期		前年比	
					比率	増減
自家投資額 [※]		223.8		327.7	146%	+104.0

※固定資産計上ベース

人員※1

(単位：人)

	2021年度	2022年度	
	通期	通期	前年増減
社員	22,918	24,012	+1,094
パート・派遣社員等※2	22,763	22,743	▲ 20
計	45,681	46,755	+1,074

※1.持分法適用関連会社人員を除く ※2.シニア社員を含む

フォワーディング取扱物量

(単位：万トン(航空)、万TEU (海上))

	2021年度	2022年度	
	通期	通期	前年増減
航空	17.6	14.2	▲ 3.4
海上	45.5	42.4	▲ 3.1

※数値は連結消去前の単純合算値



参考資料 業態別実績 (概算値)

(単位：億円)

	2021年度 (実績)			2022年度 (実績)		
	売上収益	調整後 営業利益	調整後 営業利益率	売上収益	調整後 営業利益	調整後 営業利益率
国内	3,653	221.3	6.1% (6.1%)	3,691	214.8	5.8% (5.9%)
海外	939	54.5	5.8% (6.3%)	1,288	78.1	6.1% (6.4%)
3PL	4,593	275.9	6.0% (6.1%)	4,979	293.0	5.9% (6.0%)
国内	434	12.6	2.9% (3.9%)	492	26.3	5.3% (6.2%)
海外	1,262	59.6	4.7% (4.9%)	1,236	71.5	5.8% (6.0%)
フォワーディング	1,696	72.2	4.3% (4.7%)	1,728	97.8	5.7% (6.0%)
国内	520	11.4	2.2% (3.9%)	557	15.8	2.8% (4.4%)
海外	499	10.5	2.1% (2.2%)	737	32.8	4.4% (4.5%)
オート	1,019	21.9	2.2% (3.0%)	1,293	48.6	3.8% (4.5%)
その他サービス	129	17.0	13.2% (13.2%)	142	19.1	13.4% (13.4%)
合計	7,436	387.0	5.2%	8,143	458.4	5.6%

※ () 内は顧客関連資産償却費を除く



2023年5月16日

2022年度（2023年3月期） 決算説明資料

ロジスティード株式会社



未知に挑む。

LOGISTEED